



しいは 議会だより

第63号

平成23年8月

発行 宮崎県椎葉村議会
編集 議会だより編集委員会
〒883-1601
宮崎県東臼杵郡椎葉村大字
下福良1747番地20
TEL(0982)67-3209
村内無料電話7-67-0091



- | | |
|----------|------------|
| 6月定例会 |(2) |
| 一般質問 |(3~5) |
| 常任委員会等調査 |(6~7) |
| 議会の動き |(8) |

平成23年6月定例会

副村長に総務課長の黒木保隆さんを選任!

平成23年度
一般会計補正予算は **43,181千円追加**

総額 **43億89,181千円**

平成23年度 特別会計補正予算

会計名称	今回補正額(千円)	補正後(千円)
国民健康保険特別会計	0	452,140
簡易水道事業特別会計	△707	55,564
病院事業特別会計	0	508,982
介護保険特別会計	6,652	355,345
後期高齢者医療特別会計	100	79,473
ケーブルネットワーク事業特別会計	△42	65,965

6月定例会が6月13日に開会された。
議案9件のうち予算関係が7件、条例の改正が2件審議された。
また、副村長に黒木保隆さん、農業委員会の議会からの推薦委員に、松尾の中竹直人さん（再任）が選任された。

意見書を1件可決し関係機関に提出した。

拡大生産者責任(EPR)とデポジット制度の法制化を求める意見書

拡大生産者責任とは、

行政が負担していた使用済製品の処理（回収・廃棄やリサイクル等）に係る費用を、その製品の生産者に負担させるようにする。

デポジット制度とは、

以前ビール等の空き瓶を酒屋へ持っていくと、ビン代金としてお金を返してもらうことが行われていた。この仕組みを再現しメーカーの責任を再びはっきりさせるというものです。

村長に聞く!

～一般質問～

河口吉弘議員



質問

救急搬送体制の仕組みづくりについて

本村における高齢化の進行は、お年寄りのひとり暮らしや、お年寄りだけで暮らす世帯人口518人は、高齢者人口1208人の43%を超えるという憂慮すべき状況。自宅で高齢などを要因とする脳梗塞や心臓発作などの発症は生死にかかわり、「一刻の時間争う重大な事態に陥る。

このことが大事。道路事情や集落事情の不案内によるロスマイル解消のために、患者宅がある集落や道路事情に精通した案内人を地域ごとに配置し、現場誘導を効果的に行う仕組みづくりが必要である。救急患者搬送の口である。救急患者搬送の口スタイル解消のために、村長はどのようにお考えかお尋ねします。

村長 答え

本村における高齢化の進行は、お年寄りのひとり暮らしや、お年寄りだけで暮らす世帯人口518人は、高齢者人口1208人の43%を超えるという憂慮すべき状況。自宅で高齢などを要因とする脳梗塞や心臓発作などの発症は生死にかかわり、「一刻の時間争う重大な事態に陥る。



大河内、不土野地区は、上球磨消防組合との間に救急業務応援協定を結んでおり、年間5件ほどの応援出動があります。

総務課、病院では通報があると、現場の状況を把握し、携帯電話、衛星携帯電話、ゼンリン地図等を持って出動します。問題があつた場合は、即座に総務課あるいは病院に指示を仰ぐ体制にしています。

大河内、不土野地区では、上球磨消防組合に救急目安地図を提供しています。国道327号線佐土の谷から小ヶ倉集落、中尾集落を結んでいる村道は、総延長10・6km、未舗装部分が5kmあります。この村道は、木材生産や椎茸生産などの産業振興に寄与しているばかりではなく、飲料水や農業用水源、古園ダム湖、松尾日添地区を一望できる眺めなどによって、極めて困難なケースがあるのではないか。救急救命を図るために、一刻も早く駆けつけることがあります。その内防災情や集落事情などの不案内などによって、極めて困難なケースがあるのではないか。救急救命を図るために、一刻も早く駆けつけます。

さらに、下福良から椎葉小学校対岸を結ぶ道路についても、国の事業を積極的に利用し作業道開設を進めるべきだと考えますが、村長の答弁を求めます。

集落間を結ぶ道路整備の促進について

上球磨消防の救急車を先導して誘導する活動が效果を上げています。このような体制を、消防団の皆さんを中心として、全般的に広げていくことが有効であると考えます。今後とも、消防団の皆さんや関係機関との連携強化を図りながら、救急搬送体制の確立に取り組んでいきます。

村長

村道整備は、社会資本整備交付金、道整備交付金、村単独事業等で整備を進めています。しかしながら、交付金、補助金の削減や東日本大震災による影響で、要望どおり予算獲得が厳しい状況となっています。

当路線は、集落を結ぶ道路としてまた産業振興にとつても重要な路線であります。

このことは認識していますが、5kmの舗装工事費は約1億500万円程度が必要になります。

近年の道路整備に対する予算削減の中では、この区間を一気に整備することは非常に厳しく、通行に大きな支障がある部分、早急に改良が必要な部分等について、維持管理等で対応をしながら整備をしていきます。

集落住民の要望も強いものがあり、集落間を結ぶ道路整備という村の方針に沿って、計画的な整備を取り組むべきであると思

いますが、村長の答弁を

求めます。

ささらに、下福良から椎葉小学校対岸を結ぶ道路についても、国の事業を積

極的に利用し作業道開設を進めるべきだと考えま

すが、村長の答弁を求

めます。